



私のスナップ

後藤 進一

(大森)

私は大田区池上の地でなりました。その後、池上は本門寺を中心とする門前町でありまし、長年暮らして安息の場であり、この地で生活できて本当に良かったと思っています。

この池上本門寺の歴史について紹介します。日蓮聖人は、弘安五年(一八二二年)9月8日、9年間棲みなれた身延山を下りて病氣療養のため常陸の湯に向かわれ、9月18日武蔵の国の郷土池上宗仲(むねなか)の館に入られました。その後、池上より旅を続けることができず、そのまま宗仲がでず、そのまま宗仲の館に足を留めることに

風を読む

後援会便り

定期総会を開催

小池ゆりこ税理士後援会

小池ゆりこ税理士後援会
は去る平成28年4月2日、池袋のホテルメトロポリタにおいて、渡邊東京税政連会長をはじめ多数の出席者の方針等が全会一致で承認された。



来年4月から消費税の増税が予定され、また我が国は依然として社会保障・外交問題等内外の難しい問題に直面しているが、私たちが税理士は国民の目線に立って簡素・公平・中立な税制改正の実現に向け取り組まなければならぬ。

1月29日、日銀は「マインズ金利」導入を決定した。バブル崩壊後のデフレ脱却を目指す、最初の「黒田バズーカ」が発動されて4月4日で3年が経過したが、バブルが弾けたのは25年前のことだった。



当時、私は友人と二人でBARを経営していた。場所は西麻布、店内はバブルを象徴するかのような黒と金、そして水槽。隠れ家的なBARだったが、当時としてはま

だ珍しい、ちょっとオシャレなのにカラオケも歌える店だった。そんな素敵？な店も2年足らずで人手に渡った。原因は：自分達がカウンターに入

って酒を作らなかつたこと。いや、作れなかつたことだ。人任せでは上手くいくはずもない。BARと言えはカクテルだが、やはりハードボイル

ドなカクテルがカッコイイ。探偵小説で有名なギムレット、そしてジェームズボンドのマティーニだろう。この2つのカクテルにこだわって、リベンジしたい。

私は今50歳。BARを開店するのは25年後の75歳。税理士を廃業する時だろうか？その頃、日本の経済は：難しいことを考える前にまず、パーテナーズスクールの入学案内書を手事することから始めなければ(〇・K)

ほのぼの喫茶室(タケノコの成長は早い)



設立総会を開催

税理士による松本文明後援会

1月21日、衆議院第一議員会館地下一階大会議室において「税理士による松本文明後援会」の設立総会が開催された(衆議院議員・東京7区・自民党)。来賓として東税政より渡邊文雄

ある。当後援会は、小池代議士のグローバルで卓越した力を国政の場より一層発揮できるように、あらゆる機会をとらえて会員の増強を図り支援の輪を拡大する

開会の言葉の後、発起人代表の下田政廣議員が設立趣旨を説明し、同会が議長に選出された。渡邊会長から後援会旗が授与された後、議案審議に移った。後援会規約及び役員選任の件を含むすべての議案は満場一致で可決され、会長に下田政廣議員、副会長に早田仁憲議員、三浦祥孝議員、荒井信之議員、石浦勇人議員、山下晃司議員、幹事長に篠崎昌義議員が就任した。役員紹介、会長挨拶、来賓挨拶と進み、松本文明議員から後援会設立の謝辞と国政報告を受け、日税政の小島忠男会長よりの祝電が披露された。盛りだくさんの乾杯の音頭の後、懇親会が和やかに始まり、最後は、武藤英一議員の三本締めで閉会となった。

税理士による松本文明後援会設立総会



「すがわら一秀税理士後援会」第6回定期総会(36名出席)が2月9日練馬区の「茶平」にて開催された。押入保後援会会長(練馬西)は、私たちの声が政治の世界に少しでも多く届くためには税理士後援会が必要不可欠であると挨拶した。



後援会では、税制、社会保障制度、環境等を通じて安心して暮らすを実現するために、国民の為に働く「すがわら一秀議員」を引き続き力強く応援していく。